

ニュースレターくまもと NEWS LETTER KUMAMOTO

May 2008
Vol. 71



■Publisher: Kumamoto International Foundation 4-8 Hanabata-cho, Kumamoto City, 860-0806, Japan
■発行: (財)熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本市花畑町4-8
Tel: 096-359-2121 Fax: 096-359-5112 e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL: <http://www.kumamoto-if.or.jp/>

2008年度、熊本市国際交流振興事業団が目指すもの!

学校が新学期を迎える4月、気候も「春うらら」、熊本市国際交流会館から臨む「みゆき坂」は桜満開、熊本城へ多くの花見客を導いています。今年2008年は、熊本城築城400年祭がエピローグを迎え、豪華絢爛な障壁画や天井画が見所となる照君之間を擁する本丸御殿が4月20日から一般公開される*など、新しい魅力ある熊本づくりへつながっていくことが期待されています。

真の「魅力ある熊本づくり」 — そのためには、年々増加する在住外国人と如何に共生できる社会をつくるかという観点も求められます。また、私たちの暮らしは、今や、海外各都市やそこで暮らす人々と直接結びついています。日本の食糧自給率は40%、魚・肉・野菜等々多くが海外から輸入されています。皆さんが着ているシャツは日本製でしょうか…? 私たちの暮らしは、海外に依存しています。国際交流、友好親善を進展させていくことが大切です、そのためには市民レベルでの



本丸御殿

相互国際交流、異文化理解は益々重要となります。このような状況の中、(財)熊本市国際交流振興事業団の2008年度が始まりました!

*<http://www.manyou-kumamoto.jp/castle/400/>

多文化共生社会の現状

日本の外国人登録者数は、約208万5,000人(2006年末現在、法務省入国管理局データより)となり、過去最高を更新しました。日本の全人口の1.63%を占め、国籍別に多い順は、韓国・朝鮮、中国、ブラジル、フィリピン…となっています。この外国人の居住地は、関東、東海、関西の各地方に集中しています。市町村の中には、岐阜県可児市、群馬県大泉町など総人口に占める外国人の割合が10%を超えるところもあります。

一方、熊本市の状況は、外国人登録者数が2008年3月現在で3,878人となり、総人口比の0.6%程度で、全国平均との比較において決して多くはありません。

しかしながら、国際交流会館が設立された1994年当時の外国人登録者数2,916人と比較すると30%以上も増加していることとなります。国際結婚、中国帰国者や定住者の呼び寄せ家族等、永住あるいは長期に留する傾向が顕著になりました。また、留学生、研修生数も増加しています。

このような中、様々な課題も見えてきました。普段の暮らしの中での日本語能力が不十分で情報弱者になりがちな外国人がいます。特に、親の都合で熊本に暮らすことになった子どもたちが基礎的な教育が受けられ、彼らが自ら将来設計出来るようなきめ細かなサポートが必要になります。普段の暮らしの中では普通に話せるように見えても、教育言語が不十分で、教科が理

解出来てないことも多々あります。

生活の場面では、ゴミの出し方、共同住宅でのマナー(夜中に大きな音楽、油をパイプに流す、自転車の置き方)等々、異文化背景からご近所同士で摩擦を引き起こすことがあります。多様な文化、異なる母語を持った人たちが、お互いの文化を受け入れ、同じ人間として尊重し合い、対等な関係を保ちながら生きていける社会を、熊本に実現させるための事業を展開していきます。

CONTENTS

2008年度、熊本市国際交流振興事業団が目指すもの! ……	1・2P
KIF事業レポート ……	3P
KIFからのお知らせ ……	4・5P
国際掲示板 ……	5P
世界を知る ……	6P
ちょっといわせてはいよ-新中国 国際交流員 ……	7P
ちょっと日本語&きふプロ ……	8P

多文化共生社会を目指した事業展開

毎週水曜日・日曜日、国際交流会館では「くらしのほんごくらぶ」を開催しています。生活日本語支援ボランティアの皆さんが、在住外国人のニーズに合わせグループ毎に日本語学習を行っています。日本語を聞き取ることは出来ても、話すことに自信を持っていない方々の良い学習の場となり、多文化共生社会構築への市民参画型ボランティア活動となっています。



くらしのほんごくらぶの様子

多言語での情報提供や相談窓口の設置も、医療・保健・防災、専門的な行政情報等を正確に伝えるためには必須です。国際交流会館には、中国語、英語、韓国語、ドイツ語、タガログ語、スペイン語による相談日や外国人のための無料法律相談、さらに外国人の在留資格やビザ更新などについて行政書士



KIFホームページ

による相談日を設けています。「市政だより」の健康、くらし、催しから、特に外国人の方々に知っていただきたい記事を、中国語、英語、韓国語に翻訳してホームページ**に掲載しています。

さらに、熊本でも震度6以上の大きな

地震発生が起こる恐れがあります。外国人の方々は、母国で地震を体験したことがないことから、パニックになるかもしれません。日頃から地域で外国人と日本人住民が交流をすることが大事です。国際交流振興事業団では、外国人と一緒に防災訓練に参加したり、万が一災害が発生した時、直ぐに外国人被災者への多言語による支援がとれるように全国の国際協会、多文化共生マネージャー等との「顔の見える」協力・連携体制を整えたりしています。

多文化共生社会という言葉は比較的新しい言葉かもしれません。(総務省は、2006年3月に、地域における多文化共生の推進に向けてと題して、多文化共生推進に関する研究会報告書をまとめました。)しかし、多文化共生は、国際交流・国際協力とならば重要な地域施策として推進されることが必要です。

外国人も同じ地域に住む同じ住民として、地域の夏祭り、清掃活動等の行事と一緒に参加したり、ちょっとした挨拶や声かけをしたりすることで、地域は、「誰もが安心して快適に暮らせる開かれた社会」になっていくことでしょう。

国際交流振興事業団では、そんな熊本の多文化共生の現場を紹介する写真展やセミナーを、2008年度に計画しています。

**<http://www.kumamoto-if.or.jp/>

「国際化推進、ひとつづくり」

私たちが暮らす「ちきゅう」は、気候変動、テロや紛争、貧困等々、多くの危機に瀕しています。「季節感がなくなったー 春秋が短い、虫が減った…」など異変を感じていませんか?いじめ、成長しきれない若者達、ワーキングプア等々、社会の課題も山積んでいます。豊かな碧い「ちきゅう」を未来へ引き継いでいくことは、今生きている私たちの責任です。このために、私たちは、色々な国の人たちの文化・歴史・生活のことや地球上のすべての人たちと共に生きていくことを学ぶことが大切です。

国際交流振興事業団では、「ものづくり」「ボランティア」、そして「異文化理解」をキーワードに、豊かな未来を将来に残すための「ひとつづくり」事業を展開します。



ものづくりの様子(円形木琴作り)

「ものづくり」は、創造する楽しさに加え、熊本県産のい草や杉の廃材を活用したり、環境植物ケナフを維持育てながら、その繊維を利用したり、環境にやさしい社会づくりについても学びます。「ボランティア」は、若い人材の「生きる力」を育むことを目的に、高校生、大学生が自ら企画するワークキャンプを大自然の阿蘇で実施することを計画しています。「異文化理解」は、国際交流会館内で講座、さらに地域での国際理解のニーズに合わせ、講師を派遣します。



ボランティアワークキャンプでのワークショップの様子

「地域からの国際協力!」

日本は第2次世界大戦の敗戦後、多くの国から支援され経済大国へ復興することができました。今こそ、貧困・食糧不足等困っている人たちの手助けをする番です。日本だけではなく、豊かな社会を維持していくことは出来ません。地域に住んでいる私たちも途上国の人たちと一緒に出来ることを真剣に考え、「同じ目標、未来への希望」を探し出す時です。熊本市には、海外各国と継続的な交流や途上国への国際協力を実施している民間の国際交流・協力団体(NGO)が数多く活動しています。国際交流振興事業団では、これらのNGOと連携を図りながら、市民が途上国の現状や活動を理解し、参加できる協働イベント、NGO協働SAKURA祭(毎年3月に開催)やNGOによりセミナーや展示を国際交流会館で開催しています。

「ECO、UD、元気なまちづくり~国際交流会館から!」

前述した目標とそれを達成するための事業は、国際交流会館の内外で広く展開されていきますが、特に国際交流会館は熊本市の国際化の拠点施設として、誰もが気楽に集える交流の場としてご利用いただけます。海外の新聞、雑誌や英語テレビ放送等、身近で海外に触れることができる心地よい空間です。

さらに、今年の国際交流会館は、次のような目標をあげ、地域社会、そして地球環境に貢献していきたいと考えています!

ECO、UD

~「ちきゅう」に、そして「ひと」にやさしく~

元気なまちづくり

~地域を元気に!~桜町から熊本城、多文化共生~

是非、国際交流会館へお出かけください。皆さんのスタイルに合った国際交流、国際協力、そして多文化共生について出来ることが見つかることでしょう。

今回は、熊本城の桜が満開の時期に開催された「SAKURA祭」(3/29,30開催)、そして同時に開催された「世界をよく知るセミナー」(3/29開催)と「ものづくり教室」(3/30開催)についてレポートします。

SAKURA祭



今年はバッチリ桜の満開に併せて開催することができたSAKURA祭でしたが、残念なことに2日目は雨となってしまいました。でも、そんな

天気にもまげず、5回目となる今年はNGO18団体の参加と学生ボランティアの協力で充実した内容の催しとなりました。

熊本を拠点に各国の諸問題解決に取り組んでいる団体の活動紹介や世界の共通語としてその普及に取り組んでいるエスベ



餃子づくりの様子

ラント協会の活動、また、在熊の外国人の方々と一緒に餃子作りに挑戦したりと市民と民間の国際交流・協力団体とを結びつけるとてもよい機会となりました。今回のテーマである“自分にできること”を見つけられたのではないかと



Viento(ビエント)のコンサート

と思います。加えて、今回のこのイベントを盛り上げてくれたのが、29日に行われた阿蘇を拠点に活躍している癒しのデュオViento(ビエント)のコンサートでした。南米のケーナやオカリナとシンセサイザーの独自のサウンドは海外でも高い評価を受け、癒しのひと時を与えてくれました。その他、今年は、ブラジル移民100周年の記念年に当たります。100周年を記念して豊田隆博トリオによるラテンコンサート&講演会も開催されました。熊本からも多くの方が移民したブラジルには現在140万人にも及ぶ日系人の方々が生活されています。次にこのSAKURA祭にかかすことができないのが、各国のグルメ&バザーです。アフリカ料理のクスクスやタイやラオスのカレーなど食を通じた国際交流も堪能することができました。来年はどんなSAKURA祭になるのでしょうか！乞うご期待！



各国のグルメ&バザーの様子

世界をよく知るセミナー

今年の世界をよく知るセミナーは、タイムリーな話題の「アメリカ大統領選挙の裏側」についてでした。この話題についてお話頂いたのは、今年の1月頃からヒラリー・クリントン候補の大統領選挙サポートボランティア



NIコミュニケーションズ代表 野田恭子さん

NIコミュニケーションズ代表 野田恭子氏です。さすがにヒラリー・クリントン候補の素顔など普段のニュースなどでは知ることができないお話を聞くことができました。中でも各地で行われるミニ集会を選挙ボランティアが企画運営の全て行うこと、投票の電話攻撃が日本



以上に盛んに行われていること、さらにアメリカならではの問題たとえば人種問題や宗教問題が戦局を左右していることなどアメリカ大統領選挙の裏側を知ることができました。

ケナフと自然素材を使ったものづくり教室

昨年の10月から開催している熊本こども「ものづくり」教室の規模を拡大し、これまで体験したすべての「ものづくり」体験ができる教室をSAKURA祭に併せて開催しました。この「ものづくり」教室

は、小中学生や留学生、外国の子どもたちを対象に、ものをつくる過程を通して、ものづくりの楽しさ、想像力、集中力を養い、環境にやさしい「循環」のシステムを学ぶも



のです。例えば、県産材の廃材や角材、規格外のい草などそのままでは資材として価値の薄くなったものから形あるものを削ったり、ケナフを育て、そのケナフの繊維でステンドケナフを作ったり、炭にして石鹸をつくったりしました。熊本大学の田口浩継准教授及び研究室の方々、EMS環境推進室、熊本ものづくり塾、い草縄工房井上産業等の協力のもと開催しています。

今回のものづくり教室では、い草縄の創作はがき、い草縄の小物入れ、円形木琴、ステンドケナフ、ケナフの炭石鹸づくり、こまの絵付けなどいろんな体験をすることができ、世界にひとつだけの作品に参加者は大満足でした。大人も童心にかえり真剣にものづくりに取り組んでいました。



5月からまた、毎月1回このものづくりこども教室を開催します。興味のある方は是非ご参加ください。

◆ インターナショナルサロン ◆

気軽に国際交流が楽しめると大好評のインターナショナルサロン。5月、6月の予定は次のとおりです。お申し込みは毎月3日から。3日が土日祝日と重なった場合は、翌平日からの受付となります。お早めにご予約下さい。参加費は各300円です。

定員：各18名

場所：熊本市国際交流会館2Fミーティングルーム

時間：(1)～(4) 14:00～15:00、18:30～19:30

(5)～(6) 14:00～15:00

(7)～(9) 18:30～19:30

(1) アメリカサロン	5月22日(木)、6月12日(木)
(2) 中国サロン	5月29日(木)、6月19日(木)
(3) ドイツサロン	5月15日(木)、6月26日(木)
(4) 英語サロン	5月20日(火)、6月10日(火)
(5) 韓国語を学ぼうサロン	5月23日(金)、6月27日(金)
(6) 中国語を学ぼうサロン	5月16日(金)、6月20日(金)
(7) 中国語サロン	5月27日(火)、6月17日(火)
(8) ドイツ語サロン	5月13日(火)、6月24日(火)
(9) フランス語サロン	5月16日(金)、6月20日(金)

◆ つきいち世界をしよう ◆

小中学生を対象に、月一回世界中のおもしろい習慣や風習を体験したり、歴史について学びながらもっと世界を身近に感じてもらうイベントです。参加無料!

5月テーマは“英語で遊ぼう!”

ゲームやクイズを通して英語に触れてみましょう。

講師：ティピナ パフさん、

ベンジャミン グリフィンさん、方 暁晴さん

日時：5月17日(土) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム

定員：30名

参加方法：5月7日(水)9:00から申し込み受付開始

6月のテーマは“ドイツ、アメリカ、中国”

講師の出身国のドイツ、アメリカ、中国はどんな国なのでしょう。

講師：ティピナ パフさん、

ベンジャミン グリフィンさん、方 暁晴さん

日時：6月21日(土) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム

定員：24名

参加方法：6月3日(火)9:00から申し込み受付開始

◆ こども「ものづくり」教室 ◆

毎月1回、“ものづくり”を通して子ども達の無限の創造力を引き出し、豊かな心を育てます。外国人にとって、日本の伝統文化にふれる機会となり、日本人には自分たちの文化を再発見する機会となります。そして国境を越えたふれあい交流が生まれ“もの”を大事にする環境への取り組みを学ぶ機会です。あなたも参加してみませんか!熊本ものづくり塾との共催です。参加無料

5月の作品「い草縄の小物入れ」

日時：5月25日(日) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム

定員：30名(先着順)

対象：小中学生とその家族、在外国国人の皆さん

参加方法：5月7日(水)9:00から申し込み受付開始

6月の作品「ケナフの七夕短冊づくりと竹のランプシェード」

日時：6月22日(日) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム

定員：30名(先着順)

対象：小中学生とその家族、在外国国人の皆さん

参加方法：6月3日(火)9:00から申し込み受付開始

◆ 「ラボくまもと」国際交流写真展 ◆

2007年度に実施したラボ国際センターが活動報告の写真展を開催します。

日時：5月17日(土)～31日(土)

場所：熊本市国際交流会館1Fエントランスホール

◆ 学生ボランティア説明会 ◆

国際交流イベントのお手伝いをしていただける学生ボランティアを募集します。熊本市内の高校、大学、専門学校生の方、在住外国人との交流を通して視野を広げてみませんか!

日時：5月23日(金) 18:30～

場所：熊本市国際交流会館4F第3会議室

対象：熊本市及び近郊に在住する大学生、高校生、専門学校生

※直接会場へお越し下さい

◆ 世界の現状を知ろう～ザンビア～ ◆

ザンビアってどんな国? 青年海外協力隊員として現地で活動の経験をお持ちの吉野なつ子さんにザンビアの魅力についてご紹介いただきます。

日時：5月24日(土) 14:00～15:00

場所：熊本市国際交流会館2Fミーティングルーム

定員：20名

対象：どなたでも

参加費：無料

参加方法：5月7日(水)9:00から申し込み受付開始

◆ 英会話教室(前期) ◆

12回シリーズで英会話教室を開催します。ネイティブの講師による楽しい教室です。これからの人生のステップアップに英会話を勉強されてはいかがですか！
 日時：6月10日(火)～8月26日(火) 毎週火曜日
 19:00～20:30
 場所：熊本市国際交流会館3F研修室1、2
 定員：28名
 対象：どなたでも
 参加費：12,000円
 参加方法：5月7日(水)9:00から申し込み受付開始

日伯交流年ブラジル移民百周年記念写真展
～新世界に渡った日本人～

今年は、熊本県出身の上塚周平率いる日本人が、夢と希望を胸にブラジルへの移住を始めてから100年目という節目の年にあたります。現在では140万にも及び日系人がブラジルで生活しています。彼らの歴史をパネル、写真で紹介します。
 日時：6月1日(日)～30日(月)
 場所：熊本市国際交流会館1Fエントランスホール
 共催：独立行政法人 国際協力機構
 ブラジル日本移民百周年記念教会

◆世界フェアトレードデーinくまもと◆

年5月の第2土曜日を「世界フェアトレード・デー」と位置づけ、各国でイベントやキャンペーンが同時開催されます。今年は「フェアトレード+エコロジー」をテーマとして、県内外の学生や一般人が自分の意見をプレゼンします。又、翌日の11日は、中学生による「フェアトレード」についてのプレゼンやファッションショーなども行われます。お気軽にご来場ください。

世界フェアトレード・デーとは？

IFAT(国際フェアトレード連盟)に加盟する、世界約70ヶ国・350団体のフェアトレード組織と生産者組織が一堂にフェアトレードをアピールする日。毎年5月の第2土曜日に、各国でイベントやキャンペーンを同時開催します。1995年にヨーロッパのフェアトレード・ショップの連合が運動を開始し、日本では1999年にグローバル・ヴィレッジ/フェアトレードカンパニーが日本国内のフェアトレード・ショップに呼びかけて約100軒が参加しました。2002年には、欧米や日本などのバイヤー組織と、アジアやアフリカ、南米の生産者組織が同時に参加する初の世界フェアトレード・デーが実現。世界一斉実施は、2008年で7回目となります。

日時：平成20年5月10日(土)、11日(日)
 両日とも13:30～16:30

場所：熊本市国際交流会館2F交流ラウンジ

参加費：無料(但し、要申込み)

問合せ連絡先：096-362-4130(ラブランドエンジェル)

実施団体：フェアトレードくまもと

国際掲示板

国際ソロプチミスト熊本

「百歳からが本番」102歳児世界一の教育学者 昇地三郎博士講演会

国際ソロプチミスト熊本の認証30周年を記念したチャリティー講演会を開催します。昇地三郎博士(世界最超寿命の教育学者・哲学者)が、100歳を期して、東周りの飛行機で3年連続・世界一周・新しい幼児教育メソッド「昇地式手作りおもちゃ親子愛情教室」の普及のため現在も講演活動を精力的に行われていらっしゃいます。皆様のご参加お待ちしております。

日時：5月22日(木)13:30開場 14:00開演

場所：鶴屋百貨店東館7階鶴屋ホール

参加費：1,000円(当日券有)

お問合せ先：国際ソロプチミスト熊本30周年実行委員会

TEL:096-371-5111

財団法人海外日系人協会 21世紀の日伯地域リーダー募集

ブラジル日本移民100周年を記念したプロジェクトで、ブラジル日系4団体が共催し、日本の地域リーダーをブラジルに招聘し、日本・ブラジル両国の友好と文化交流を促進するため

の事業です。あなたもブラジルとの交流の架け橋になりませんか。詳しい現地プログラムについては下記のお問合せ先までご連絡ください。

日程：平成20年7月17日(木)～27日(日) 募集人数：各都道府県より原則2名

応募資格：原則20～60歳迄の日伯交流に意欲と関心をお持ちの方

経費：①主催者負担→ブラジル国内における食費・宿泊費等

②参加者負担→(ア)東京・サンパウロ往復航空賃、空港使用料、燃料代253,540円(イ)ビザ取得費用11,200円

(ウ)国内線航空賃(サンパウロ→ブラジリア→リオデジャネイロ→サンパウロ)101,700円

お申込期限：平成20年5月15日 お申込・お問合せ先：財団法人海外日系人協会

担当：西脇さん 横浜市新港2-3-1JICA横浜2F TEL:045-211-1783 FAX:045-211-1781

E-mail:nishiwaki@jadesas.or.jp



世界を知る。

このページは、「世界を知る」をテーマに日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を、「国際協力」と「留学」の各専門家からご紹介いただくシリーズです。国際協力については、独立行政法人国際協力機構（JICA）JICAデスク熊本 国際協力推進員の吉田 智和さん、留学については留学アドバイザーの方々です。

＜国際協力＞—人と人とのつながり—

JICA国際協力推進員 吉田 智和さん

こんにちは、私は、平成15年12月から2年間ほど青年海外協力隊として、西アフリカのブルキナファソで野菜栽培に関する活動をしていました。

私の活動地はバンゾンという村で、赴任して間もないころ、ブルキナファソ人とともに畑を見回っていて感じたことは、以外という大変失礼ですが、区画整理され



た畑で、タマネギを始めさまざまな野菜が栽培されており、私はなぜここに派遣されたのだろうか？ここに協力隊が必要なのだろうか？という疑問でした。

しかし、初めの頃見たものは村のほんの一部でしかありませんでした。村の中心部から外れた畑でも多くの野菜栽培が行われていましたが、ここでは決して効率的な野菜栽培が行えているとは言えませんでした。そのため、効率のよい農業を行っているものと、そうでないものの差の激しさが目につきました。

そこで私は、活動の中心として現地の友達と講習会を計画しました。日本では、栽培者同士の情報交換や、さまざまなメディアからの情報が得られますが、この村にはそれがありません。そこで、基本的な栽培方法はもちろんのこと、有機肥料、自然農薬の簡単な作り方、今まで意見交換のなかったブルキナ人同士が、今後も栽培方法で悩んだ時などに相談しやすい雰囲気作りを目的としました。もちろんこの講習会の講師は、日本

人の私ではなく、豊富な栽培技術をもった現地の人々で、私はあくまでつなぎ役です。

私の活動の中心は、知識・技術を伝えるというよりは、現地の人々がつながる“場”の提供と現地にある知識・技術を広めるというものでした。

“技術を伝える”というのも協力隊としての国際協力ですが、私の行った“場づくり”も国際協力の一つで、国際協力にはさまざまな形があったいいものではないかと考えるようになりました。



私は協力隊の活動を終えた今、熊本市国際交流会館でJICA国際協力推進員として活動しています。ここでも多くの人と出会い、多くの人“出会える場”を作っていきたいと思います。それは、“人と人が出会う”それが国際協力につながっていくのだと考えているからです。私は、国際協力と出会わせてくれたブルキナファソの人々をはじめ、今まで出会ってきた人々に感謝しています。そして、これから出会える人々を楽しみにしています。

次回は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の取り組みについてお話しします。

＜留学＞—留学を成功させるために—

留学アドバイザー 角田 里美さん

世界で使用されている英語の60%以上は、今やノン・ネイティブ（英語を母国語としない者）間の会話の手段として使用されていると言われています。この「世界の公用語」としての英語を習得するための海外留学は、インターネットなどの情報通信手段や航空機などの交通手段の急速な発達により、より身近なものになってきました。それに伴い留学の形態も、短期語学留学から卒業を目指す正規留学、児童英語教師やフラワーアレンジメントなどの資格を取得するための留学、親子留学、英語以外にも韓国語やフランス語を習得するための留学など様々です。留学を成功させるためには、まず、その目的を明確にすることです。「何のために行くのか。」それが明確になれば、自ずと、どの国で、どこの学校で学べばよいか等がぼ

んやりと見えてきます。それから、情報収集です。留学経験のある友人や知人、インターネット、そして信頼できるプロの留学アドバイザーなどから色々な情報を収集しましょう。留学アドバイザーと聞くと敷居が高そうですが、気軽に相談をしてみてください。学校選びやホームステイや寮などの居住スタイル、ビザの取得方法などから、その国の物価や治安状況など、プラス面だけではなく、マイナス面もきちんと話のできる信頼できるアドバイザーは、渡航後でも頼りになるものです。時には、勉強の大変さに挫折しそうになったり、ホームシックになることもあるでしょう。でもきっと、出発前のあなたより、確実にあなたの視野は広がっています。帰国後のあなたは、語学や資格の習得の他に、より広い視野を手に入れているはずですよ。

ちょっといわせてはいよ

初めまして、方 暁晴です



ほう ぎょうせい
筆者：方 暁晴さん

平成20年4月から熊本市の国際交流員として勤務。

毎週火曜日は熊本市国際交流会館にて勤務。

＜方さんの熊本市国際交流会館での活動＞

中国相談：毎週火曜日 13:00～17:00

その他、月1回開催される中国語サロンや中国サロンも開催します。(詳しい日時はP4のインターナショナルサロンをチェックしてください。)

私は方暁晴と申します。今年4月9日から中国国際交流員として熊本市で働くことになりました。この桜満開の季節に日本に来ることができて、大変嬉しく思います。

私は旅行が大好きで、北京、上海、広東など多くの都市へ行ったことがあります。でも、一番好きなのはやはり自分のふるさと南寧市なんないしであります。南寧市は広西壮族自治区の区都であり、緑の町と言われております。これからは、ふるさとの南寧市について少し紹介させていただきたいと思います。南寧市は広西壮族自治区の政治、経済、文化、科学技術の中心地であり、経済が日進月歩の発展を遂げてきました。また、空路、鉄道、及び高速道路網の便もよく、四方八方へと通じ、中国西南内陸地方の海に至る通路の中枢に位置し、中国の華南、西南地方と東南アジア経済圏の接合点にあります。また、南寧市には壮族、漢族、苗(ミヤオ)族、誼(ヤオ)族など36の民族が居住していますが、その中で最も人口

が多いのは壮族であります。壮族は歌も踊りも秀でているので、有名な民族であります。壮族の歌手達は歌で友人をもてなし、歌で愛情をつたえます。誠に豊かさあふれる少数民族の風情に満ちた都市であります。賑やかな町に身を置くと広西少数民族の熱情と風采を味わうことができます。

今回、私は中国国際交流員として日本へ行くのが初めてです。日本の言葉や習慣、風俗などを学び、いろいろな所を見学するつもりですが、自分のふるさとのことや中国の物事、そして、中国からの友好の意を熊本市の方々に伝えたいと思っております。中日両国の相互理解を深め、友情を深めにくために、全力を傾注して取り組んで行こうと思っております。では、熊本市の皆さん、今回の訪日の目的を実現するために、ご指導、ご協力お願い致します。これから、皆さんと共に、真剣に頑張りたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

広告募集！ あなたの企業も一緒に情報発信しませんか!?

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協力に関心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいております。

発行：年6回（奇数月発行）

部数：3,000部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員（約500名）、熊本市役所関係機関（市民センター、公民館等）、熊本市国際交流会館内

広告の種類：1/4ページ（この広告募集のサイズです。）

契約期間及び料金：単発（1回）20,000円、半年契約（3回）45,000円、年間契約（6回）60,000円

なお、半年契約・年間契約の場合、同一版での広告内容とさせていただきます。

Japanese Tip
ちょっと日本語

日本語のお守り

日本語研究会ASA 小川ひろみさん

桜が散り若葉のころになると、ひらがなを習い始めた人達の頭の中には五十音図がしっかり入っているでしょうか。外国語として日本語を学ぶ時、五十音図表は壁の飾りだけではありません。あ・い・う・え・おの母音の段とK/S/T/N/H・・・の子音を組み合わせると日本語を知らなくても手探りで五十音図表をもとに「K+A=KA」とか、「N+E=NE」と音を作り出せるし、また五十音図表は動詞文法の活用表でもあります。あ段が否定形と知っていれば、「書く→書かない」となり、「い」段は「～ます→書きます」、「う」段は友達と話す時や辞書を引くときの形「書く。」、「え」段は「～ば→書けば」と規則に従って変形することができます。つまり、ゼロスタートの日本語学習者には五十音図表はマジックチャート、日本語のお守りなのです。

平成20年度賛助会員募集中!!

(財)熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。

会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、Denkikan様のご協力により映画鑑賞料金の割引特典や当事業団主催講座の受講料会員割引特典もあります。

①個人会員 一口 2,000円/年(一口以上) ②団体会員 一口 10,000円/年(一口以上) ただし、平成21年3月までの会員期間となります。

継続・新規加入ありがとうございました(平成20年2月10日～平成20年4月10日現在)

(個人)50音順(敬称略)	安藤 宗憲	梅田 泉	清田 良一	田崎 弘	原田 奈穂子	山田 千明
	稲岡 福子	大谷 清明	桐原 正義	田島 千花子	樋口 雄二	山田 道夫
	稲葉 秀造	川田 清治	鴻池 紘	田畑 隆次	本山 和彦	吉信 京子
	岩崎 千夏	木村 純久	迫田 孝二	中村 啓一	守川 照光	米村 光子

(団体)50音順(敬称略) 熊本民百貨店

入会のお申し込み・お問い合わせ

(財)熊本市国際交流振興事業団 事務局 〒860-0806 熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館内
 TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5112 e-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

きふプロ ただ今インターン中!

こんにちは。

私たちは熊本学園大学ホスピタリティマネジメント学科3年の(写真右から)山内、高、寺本です。

今インターンシップで国際交流会館にきています。

普通のインターンは短期間で修了してしましますが、ホスピタリティ学科のインターンシップは、なんと三ヶ月あります。

私たちはこの長期に渡るインターンシップで外国人の方など様々な人と接しグローバルなホスピタリティを学んだり自分の視野を広げたり語学力アップにも力を入れたいと思い国際交流会館を選びました。

実際に一週間ほど働いてみて社会人として大変なこともあります。外国の方々やサポートセンターボランティアの方々とたくさん話したりサロンにも参加させてもらったりと、語学だけでなく文化・人生の勉強にもなります。また、実習前は職場に慣れることができるか不安でしたが、皆さん優しく接して下さるのですぐに馴染むことができました。これから先、もっと色々なイベントに参加させてもらえるとのことなので、楽しみながらいろいろなことを吸収していきたいです。



- 熊本空港より 車で45分
- 熊本交通センターより 徒歩3分
- 熊本市電より熊本城前下車 徒歩3分

from Kumamoto Airport-45minutes by car
 from Kotsu Center-3minutes walk
 By Tram-3minutes walk from the "Kumamoto jou mae" stop

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 平日 午前9時～午後8時
 土、日、祝日、午前9時～午後7時

休館日 第2・第4月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

Civic Support Center for International Exchange and Cooperation
 Service Hours: Monday to Friday 9:00 a.m.-8:00 p.m.,
 Saturday, Sunday, National Holidays 9:00 a.m.-7:00 p.m.
 Closed: 2nd and 4th Mondays of each month